

ヒューマンライツ・ナウ人権政策アンケート（2026.1）

回答政党名：チームみらい

各設問について、「賛成」「反対」「どちらでもない」のいずれか一つを選んで下さい。有権者の判断に資するよう、できる限り「賛成」または「反対」を選択して下さい。「どちらでもない」を回答した場合、立場と理由を必ず書くようにして下さい。

1. 選択的夫婦別姓制度を導入するための民法改正を 2026 年中に実現することに賛成ですか？

【結論】 賛成

【理由】 チームみらいは、結婚による苗字変更によっておこる不利益を解消すべきだと考えています。その方策として、選択的夫婦別姓導入は有力な考え方であり、国民の声を集めて多角的に検討します。

2. 同性婚の法制化に賛成ですか？

【結論】 賛成

【理由】 同性婚を必要とする方も含め、様々な理由で社会的少数派とされる方々が、社会生活上で直面する困難を軽減し、誰もが安心して暮らせるように理解を深めるための環境整備・制度設計のための議論を丁寧に進めます。

3. 自己堕胎罪や、母体保護法の人工妊娠中絶の配偶者同意要件の廃止など、セクシュアル／リプロダクティブ・ヘルス&ライツ（性と生殖に関する健康と権利）を推進することに賛成しますか？

【結論】 賛成

【理由】 自己決定権を尊重しながら、生命と健康を守ることができるよう、多角的に検討します。

4. 国会議員の義務的クォータ制度（少なくとも 30 パーセントを女性に）に賛成ですか？

【結論】 どちらでもない

【理由】 女性議員の割合は現行水準より高くあるべきという立場で、各党による積極的な取組が求められていると考えます。

5. 多文化共生社会の実現に賛成ですか？

【結論】 賛成

【理由】 様々な文化的な背景を持つ方が、互いに尊重しあえる社会の実現に向けた検討を行います。

6. 包括的な差別禁止法の制定に賛成ですか？

【結論】 どちらでもない

【理由】 差別を解消し、誰もが安心して暮らせるような環境整備・制度設計のための議論を丁寧に進めます。

7. ヘイトスピーチ解消法を改正し、ヘイトスピーチを禁止する条項を追加することに賛成ですか？

【結論】 どちらでもない

【理由】 表現の自由を踏まえても、ヘイトスピーチは許されるものではなく、ヘイトスピーチの解消に向けて議論を丁寧に進めます。

8. 「違法外国人ゼロプラン」に基づく外国人の送還の継続に賛成ですか？

【結論】 どちらでもない

【理由】 入国管理、在留管理をルールに基づいて適切に行うことは、多文化共生を実現するためにも重要であり、議論を丁寧に進めます。

9. 最高裁による生活保護基準引き下げ違憲判決を受け、国が謝罪と全利用者への差額支給を実施すること、物価高を考慮して生活保護基準引き上げを行うことに賛成ですか？

【結論】 賛成

【理由】 生活保護についても物価変動の考慮は必要と考えます。

10. ILO 第 111 号条約「雇用及び職業についての差別的待遇に関する条約」、第 190 号条約「仕事の世界における暴力とハラスメントの撤廃に関する条約」の批准に賛成ですか？

【結論】 賛成

【理由】 職場における差別、暴力、ハラスメントをなくすための法整備が必要だと考えます。

11. 政府から独立した国内人権機関を設立することに賛成ですか？

【結論】 どちらでもない

【理由】 人権救済制度については、多角的な観点で丁寧に議論が進められるべきだと考えます。

12. 人権条約の個人通報制度を導入することに賛成ですか？

【結論】 どちらでもない

【理由】制度を導入する場合に必要な体制と、想定される課題について、十分検討していく必要があると考えます。

13. 死刑制度の廃止に賛成ですか？

【結論】どちらでもない

【理由】国民的な議論を丁寧に進めていくべきテーマだと考えます。

14. 冤罪被害者の救済に向けた再審法の改正(検察官手持ち証拠の開示の義務付け・再審開始決定に対する検察官上訴を認めないことを含む)を議員立法として実現することに賛成ですか？

【結論】どちらでもない

【理由】再審制度については、再審請求の実情も踏まえつつ、多様な視点で議論を丁寧に進めていく必要があると考えます。

15. 大企業に対して人権デューデリジェンスを義務付ける法律の制定に賛成ですか？

【結論】賛成

【理由】サプライチェーンにおける人権リスクを把握し、適切に対処していくための検討を進めます。

16. 強制労働・児童労働により製造されたあらゆる物品の輸入を禁止する関税法の改正に賛成ですか？

【結論】賛成

【理由】人権侵害行為を前提としたサプライチェーンを容認しない姿勢が重要だと考えます。

17. 国際法に違反する侵略行為を行っている国に対しては、これを非難し、「力による現状変更」を容認しない外交姿勢を貫くことに賛成ですか。

【結論】賛成

【理由】力による現状変更を容認しない姿勢を重視し、対話によって国際社会の平和と安全を実現すべきだと考えます。

18. 国際刑事裁判所(ICC)ローマ規程の締約国として、米国による制裁等の事態に反対し、ICCを積極的に支持する外交を推進することに賛成ですか？

【結論】賛成

【理由】法の支配は国際的な平和と安全の基盤であり、ICCを支持する立場で外交を推進します。

19. イスラエルのガザに対する軍事行使の即時停止とパレスチナ占領地からの撤退に賛成ですか？

【結論】 どちらでもない

【理由】 ガザに対する軍事行使をなるべく早期に停止できるよう、イスラエル・パレスチナ双方と国際社会が対話による解決を実現できるよう呼びかけていくことが重要だと考えます。

20. 指導者が戦争犯罪で訴追されている国（現状ではロシア、イスラエルなど）の防衛産業との取引を全面停止することに賛成ですか？

【結論】 賛成

【理由】 国際法に違反して武器が使用されるおそれがある状況での取引には慎重になるべきと考えます。

21. 普天間基地の名護市辺野古への移設/辺野古新基地建設（遺骨を含む土砂使用が計画されている）に賛成ですか？

【結論】 どちらでもない

【理由】 安全保障の観点と地域住民の方々の負担軽減の観点など、多面的な検討を進める必要があると考えます。

22. 日米地位協定ないし同協定3条や17条に関する合意議事録の見直しを米側に提起しますか？

【結論】 どちらでもない

【理由】 米国側と丁寧に議論を重ねながら、両国にとってあるべき姿を実現していく必要があると考えます。

23. 核兵器禁止条約の批准に賛成ですか？（いずれか一つを選んで下さい）

【結論】 どちらでもない

【理由】 唯一の戦争被爆国として、核兵器保有国・非保有国の双方に核軍縮を呼びかけていくことが重要だと考えます。

24. 唯一の戦争被爆国として、非核三原則を堅持することに賛成しますか？

【結論】 賛成

【理由】 非核三原則の堅持に賛成します。

25. すべての原発を廃炉にし、再稼働・新增設は行わない原発ゼロ政策に賛成ですか？

【結論】 反対

【理由】 大幅なエネルギー需要増に対応できるよう、エネルギーミックス目標を再設定し、

長期的には安全性の担保を前提に核融合技術への研究開発投資を強化します。

26. 石炭火力発電所及びその建設計画（途上国輸出も含め）を全廃し、2030 年までに少なくとも 60%以上の CO2 削減（2013 年度比）を目標とすることに賛成しますか？

【結論】 反対

【理由】エネルギー需要の大幅増が予測される前提で、各種目標は再設定すべきと考えます。

以上